

## はだ かみ 肌の色と髪の色

日本人はほとんど意識しませんが、外国にいくと、肌はホワイト、目はブルー、髪はブロードなどと人の姿の特徴を説明します。髪・肌・目の色はみんなちがうというのがあたりまえだからです。肌の色はメラニン色素の量のちがいです。色素が太陽光から肌を守る役目をしています。肌の色（人種）は差別の原因になってきました。でも、おたがいを理解するためには、どうしてそうなっているのを知ることが大切です。

## けしょう 化粧と色

人間がいつから体に色をつけていたのかはわかっていませんが、約7万年前のネアンデルタール人は遺骨を赤褐色や黒で彩色しています。身体塗色（フェイス・ボディペインティング）は、葬式における死との出会いで呪術性の表現としてはじまったもので、白は神の色、黒は死者の色として儀式に使われています。現代でも世界の多くの先住民たちは体に化粧をしています。それらは部族間の識別や、戦意を高めるため、舞踊や美的装飾など、さまざまな理由があります。



[https://www.flickr.com/photos/hot\\_weddington/9600298331/size/c/](https://www.flickr.com/photos/hot_weddington/9600298331/size/c/)

## フェイスワーク フェイスペイントであそぼう！

フェイスペイントはサッカーのサポーターやハロウィンなどのイベントでおこなわれています。園工でやっても楽しいよ！



## 歌舞伎の 化粧の色

化粧はべつ的人格になる、いわゆる「なりきり」を意味しています。歌舞伎の化粧法のひとつ、「隈取」は、もともとは顔の血管や筋肉をオーバーに表現するためにえがかれたといわれています。また役柄によって使われる色が決まっています。

隈取は初代市川團十郎が人形浄瑠璃の人形からヒントをえて、紅と墨でかいたのが最初だそうです！



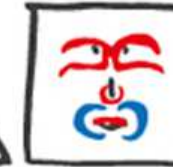
## あいろ 藍色

スケールの大きな敵役に使われます。



## 赤色

荒事の基本である、勇気・正義・強さをもった役に使われます。



## 茶色

鬼や妖怪など、人間以外の不気味な役に使われます。



忠雅

《隈取十八番 市川流火燗》



忠雅

《隈取十八番五世菊五郎工夫平九郎鬼女之隈》



忠雅

《隈取十八番 土蜘蛛ノ隈》

京都府立総合資料館 演劇部 提供

## まめちしき 化粧と口紅の色

オークル（黄土色）系のメイクにオレンジ系の口紅は、にあっている？ ピンク系の口紅にしたらどうか？ 肌が黄色系なら黄色をふくむ色を、赤み肌なら赤をふくむ色を使うといいね。お化粧では、自分の感じてじっくりくることが大事。好きな色にあうとはかざらないんだね。

自分にあう色を見つけよう。

